

平成28年度事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

特定非営利活動法人フードバンク信州

I 事業の成果

フードバンク信州は、設立2年目を迎え、「食品ロスの削減と有効活用」と「生活困窮者の自立支援」の目標に基づき、食料の循環を通じた地域づくり活動の啓発と普及を図った。

流通の過程で廃棄される食品や、家庭で眠っている食品の寄贈を受け、関係機関・団体のネットワークを活かして、食料支援を必要としている人につなぐことにより地域の支え合いのしくみを築くため、平成28年度は次のような課題に重点的に取り組み、それぞれの目標に向かい成果を収めた。

- ・県内の各生活困窮者相談支援機関の窓口で緊急的に食料支援が必要なケースが増加しており、安定的な食料確保、提供の体制確立を図る
- ・ニーズの増加に対応できる継続的な活動展開に向けて、賛同者、協力者を増やすことが不可欠であり、企業や一般住民に対する効果的な啓発活動を展開する
- ・長野県は面積が広いという地理的環境を踏まえて、効率よく食品の受け入れや提供を寄贈や支援ニーズに効率よく応えるために、地域ごと需給調整をはかれる拠点の整備を図る

II 実施事業

1 食料の受け入れと提供

企業や家庭から食品の寄贈を受け、生活困窮者やひとり親家庭等で支援を必要としている世帯及び相談支援窓口などに提供し、自立につなげる支援を行った。

(1) 企業・団体等から食料の受入

フードバンク活動への理解、協力をしていただく企業、団体、個人等が次第に増加し、フードバンク信州に持ち込まれた寄贈食料は、約9トンとなり当初の予想を超える量となった。

平成29年3月末で合意書を取り交わしている協力企業は16社となった。

協力団体では、JA長野中央会、長野県労働者福祉協議会、コープながの、ワーカーズユープ、高齢者生活協同組合などの多様な団体が活動に参加協力いただいた。

(2) フードドライブの実施

一般市民に呼びかけ、家庭で利用されずに眠っている食品を持ち寄っていただくフードドライブを、フードバンク信州が主催して開催するとともに、県内の各地域において

行政や団体のイベント等で主催するフードドライブに応援、協力して開催を広めた。

① 定期開催

長野市、松本市、上田市の 3 地域では、毎月定期開催するフードドライブが定着し、28 年度中に計 33 回開催した。

長野市では平成 27 年 11 月から毎月第 2 土曜日にもんぜんぷら座で、松本市では平成 27 年 12 月から毎月第 3 木曜日に松本市役所東庁舎で、上田市では平成 28 年 6 月から毎月第 1 土曜日に上田明照会駐車場で開催し、協力市民も増えている。

フードドライブの運営はそれぞれの地域の関係団体のネットワークがスタッフとして担っている。

定例開催のフードドライブで寄せられた食料は、2,800 kg となった。

② イベント等での協力開催

行政や団体等のイベントなどの活動の中でフードドライブ開催への関心が高まり、フードバンク信州と連携して多様な分野や方法でフードドライブが県内各地域で開催され、協力の輪が広がった。

行政関係の開催では、長野市環境部の協力で 6 月から市庁舎でのフードドライブを開始、9 月には「ご縁」という名称で半年間隔での開催となった。その他、須坂市、諏訪市、安曇野市など多くの自治体で行政主体の開催が広がった。県関係では 12 月に長野県庁ロビーで、3 月には長野地方事務所で開催された。

イベント関係では、環境フェア、ふれあい祭りなどでの実施、ライオンズクラブ、男女共同参画団体など、多分野にわたる広がりを見せた。

市民レベルでは、5 月 1 日の長野県中央メーデーで「ひとかん缶詰プロジェクト」を実施、メーデー参加者から約 1,100 缶の缶詰が寄付された。また、シニア大学長野学部のクラスの自主活動として 9 月から 3 回開催、安曇野市の市民が実行委員会をつくり行政と連携して実施するなどユニークな取り組みも始まった。

イベント等によるフードドライブ開催は延 38 回となり、寄せられた食料は、5,600 kg となった。

フードドライブは、一般の市民に、食料の無駄を減らすことと困窮者の支援について関心を持ってもらうための啓発の場としての役割に期待があり、今後、地域の関係者の連携により多様な開始の可能性がある。

フードドライブでは、缶詰、レトルト食品、カップ麺、乾麺、菓子類、調味料、お茶など多様な食品が集まり、集まった食品は、地域内での食料の循環による有効活用の形が生まれてきている。

(3) 食料の提供

生活困窮者の緊急支援

フードバンク信州が受け入れた食料は、県内 23 か所の生活・就労支援センター（まいさば）や困窮者支援団体を通して、食料支援が必要な個人に対して提供するととも

に、相談窓口や支援団体、社会福祉施設などの支援に活用した。

平成 28 年度の支援実績は、個人への緊急支援食料は、7,600 kg、団体、施設への支援は 6,400 kg となった。

平成 28 年度中にフードバンク信州の食料支援を利用した市町村は、56 市町村（全市町村の 72.7%）となり延べ利用件数は 1,267 件となった。

フードバンク信州の食料の保管、仕分け、発送作業の拠点は、団体会員である社会福祉法人長野市社会事業協会のななせ仲まち園が受け持ち、会員として大きな役割を担っている。ななせ仲まち園では、障害のある施設利用者のみなさんが、仕分け作業に参加するなど、社会参加活動の体験の場ともなっている。

（※ 食料の受け入れ提供状況・フードドライブ実績 別添）

2 子どもの居場所づくり事業への連携協力

フードバンク信州では、一般の生活困窮者への支援と併せて、困難な課題を抱えた世帯の子どもたちに食料を届けることも活動の大きな目的に掲げて活動してきた。

平成 28 年度は、その活動の一つとして、長野県が実施した子どもの居場所づくりモデル事業に連携協力して、寄付された食材を子どもの居場所に提供する活動に取り組んだ。

(1) 「信州こどもカフェ」事業への協力

子どもの居場所づくりモデル事業は、地域の人と子どもたちに、学習支援、食事提供、悩み相談等の複数の機能・役割を持つ居場所づくりをすすめることを目的に、長野県が NPO センターに委託し、松本市と飯田市の県内 2 か所で「信州こどもカフェ事業」を展開したもので、この事業の中で、フードバンク信州は居場所の機能の「食事提供」の部分で食材の確保と安定的な提供に協力し、事業をバックアップする役割を担った。

「信州こどもカフェ事業」は、松本の「なみカフェ」は 50 回、飯田の「かふえじゅく」は 40 回と開催され、3 月末までに、2 か所の居場所に届けた食料は、約 900 kg になった。

フードバンク信州が子どもの居場所に届けた食材は、食品製造企業から寄付していただいた乾麺、パスタ、味噌、レトルト食品などと、各地で開催されたフードドライブで集まったお米、缶詰、調味料、お菓子など多岐にわたり、食料の有効活用が図られた。

(2) 大鹿村の子どもの居場所づくりに協力

フードバンク信州は、信州こどもカフェ事業への協力と併せて、下伊那郡大鹿村の小学校が実施した食育活動を通じた居場所づくりに協力した。全校児童 34 名という大鹿小学校においても、仕事の都合で親の帰宅時間が遅い子どももあり、放課後児童クラブにおいて、食事提供を行うことで生活習慣の定着を図る目的で、フードバンク信州から提供する食材を活用して通学合宿等を実施、食を通して子どもの心を豊かにする場づくりに取り組んだ。

過疎地の小学生と、全県域で活動するフードバンク活動がつながることで、思いやり・

食べられることが当たり前でないことを感じることを学ぶ機会となった。

3 フードバンク活動の普及・啓発

フードバンク活動に対する理解を広め、活動参加者を増やし、食を通じた地域の支え合いの仕組みを県内の各地域で進める基盤づくりに努めた

(1) フードバンク活動推進セミナーの開催

フードバンク活動を県内の各地域の取り組みとして広げるため、支援機関・団体、企業、行政、住民等、関心がある人たちを対象にフードバンク活動について、考えるためのセミナーを長野市、松本市、飯田市、佐久市の4地域で開催した。

地域	開催日	会場	参加者数
長野市	H28年11月15日	長野市社会事業協会にじいろキッズライフ	49名
松本市	H28年12月6日	長野県松本合同庁舎講堂	64名
飯田市	H29年3月1日	南信消費生活センター講堂	38名
佐久市	H29年3月8日	佐久平交流センター第5会議室	39名
			190名

〔内容〕

- i 基調講演 講師 鈴木 和樹さん（フードバンクふじのくに事務局次長）
 - 「現在の貧困問題とフードバンク活動」 長野・松本会場
 - 「多様な協働によるフードバンク活動の推進」 飯田・佐久会場
- ii パネルディスカッション
 - 「食でつながる地域の支えあいづくり」
 - (パネリスト)

会場	パネリスト
長野	細川 裕夫さん（まいさぼ上田 所長） 伊藤 由紀子さん（NPO法人ワーカーズコープ松本事業所 所長） 田中 敏夫さん（上田明照会相談室ともいき処 相談支援員）
松本	村上 晴久さん（まいさぼ松本 所長） 小林 啓子さん（長野の子ども白書編集委員会 事務局代表） 原山 政幸さん（企業組合労協ながの 専務理事）
飯田	市瀬 邦子さん（まいさぼ飯田 所長） 松尾 厚さん（ほほえみのゆめプロジェクト 代表） 小林 瑠伊さん（大鹿村教育委員会学校教育係主事）
佐久	篠原 敏明さん（まいさぼ佐久 主任相談支援員） 青柳 與昌さん（長野市社会事業協会ななせ仲まちな園 園長） 細川 保英さん（佐久市岩村田本町商店街振興組合 理事）

(コメンテーター) 鈴木和樹さん、

(コーディネーター) 美谷島越子

iii フードドライブ開催ノウハウ講座

フードドライブの開催に向けての実践講座

(2) フードバンクボランティア（担い手）養成講座の開催

フードライブをはじめとしたフードバンク活動に参加者を養成するための養成講座を長野市、松本市、上田市の3会場で開催した。

会場	開催日	参加者数
長野	11月8日、15日、22日	15人
松本	11月29日、12月6日、12日	13人
上田	3月21日（長野大学）	11人
		39名

〔内容〕

第1回 基礎編

講義1 「貧困問題とフードバンクの役割」

講師 鈴木忠義氏（長野大学准教授）

講義2 「フードバンク信州の活動について」

講師 美谷島越子事務局長

第2回 公開講座「フードバンク活動推進セミナー」を受講

第3回 応用編 活動参加のためのワークショップ

ファシリテーター：長野県NPOセンター

（長野）小林博明さん

（松本）山室英俊さん

4 地域拠点の整備・ネットワークの構築

(1) 地域拠点の運営

地域の中で食料を循環する仕組みを創り、効果的な支援のネットワークを構築するため3地域に拠点の設置を進め、活動を開始した。

◇松本拠点 ワーカーズコープ松本事業所内

松本市城東2-7-17 ハイツリラ101

◇上田拠点 社会福祉法人上田明照会内

上田市中央2-7-3

◇飯田拠点 ほほえみのゆめプロジェクト内

飯田市宮の前4400-5 南井アパトーA

(2) 関係者会議の開催

地域の関係者が連携して、地域内で食料の循環を図るしくみを構築するため、フードドライブの開催をきっかけに地域関係者会議を開催し、事業推進を図った。

平成 28 年度は、3 地域で 5 回の関係者会議を開催し、フードドライブの開催、地域拠点の運営のためのネットワークの強化を図った。

日	地域	参加者	内容
4 月 20 日	上田	10 名	地域拠点作り、フードドライブの開催
7 月 13 日	松本	11 名	状況交流、今後の取組（フードドライブ、拠点など）
1 月 18 日	佐久	14 名	フードドライブの開催、セミナーの開催
2 月 22 日	上田	15 名	今後のフードドライブの開催、拠点運営方針
3 月 24 日	松本	11 名	今後のフードドライブの開催、拠点運営方針
		61 名	

○他団体との連携による活動

フードバンク活動が社会に理解され活動への参加を広めるため、他団体が実施する企画等に積極的に参加、協力を行った。

5 広報・報道

(1) 広報活動

フードバンク活動について、理解をひろめ、会員拡大、協力者の増加をめざし、広報活動に取り組んだ。

① 啓発用チラシ等の作成・配布

- ・一般市民向けチラシの作成 10,000 部
- ・企業向けパンフレットの作成 5,000 部

② ホームページの作成

Web サイトからの申込み受付、問い合わせへの対応

③ フードバンク通信の発行

会員向け情報誌「フードバンク通信」を発行（1～10号）

(2) メディア利用による広報啓発

フードバンク信州の活動について、テレビ・ラジオ、新聞等の取材による啓発を行うとともに、フードドライブの開催については、プレスリリースし、一般への周知に努めた。

- ・新聞各紙の報道 延べ 30 回
- ・TV各社の報道 長野県庁FD、長野市役所FD、フードバンク活動推進セミナー等

の取材によりニュース等で随時放映

6 組織運営

(1) 会員の構成 平成 29 年 3 月 31 日現在

	団体	個人	合計
正会員	16	15	31
賛助会員	8	12	20

(2) 三役会議

第 1 回 4 月 27 日 長野県 NPO センター
第 1 回理事会について

第 2 回 6 月 30 日 長野県 NPO センター
第 2 回理事会について

第 3 回 9 月 12 日 長野県 NPO センター
第 3 回理事会について

第 4 回 12 月 15 日 長野県 NPO センター
第 4 回理事会について

(3) 理事会

第 1 回 4 月 28 日 もんぜんぷら座 304 会議室
平成 28 年度通常総会について、夢バンクからの借入について、
「子どもの居場所づくりモデル事業」への協働について

第 2 回 7 月 5 日 もんぜんぷら座 302 会議室
ホームページのトップデザイン、担い手養成講座及びセミナーの開催計画
共同募金「使途選択募金」への参加

第 3 回 9 月 13 日 もんぜんぷら座 302 会議室
フードドライブ研修会・推進セミナー・担い手養成講座の開催計画
チラシの検討

第 4 回 12 月 15 日 もんぜんぷら座 303 会議室
地域拠点整備計画について、品質管理規定の制定について

第 5 回 平成 29 年 2 月 16 日 もんぜんぷら座 303 会議室
フードバンク活動推進セミナーの開催について
平成 29 年度社会福祉振興助成金の申請について
平成 29 年度農水省補助事業への応募について